

能登

広報



猿鬼

特集 伝説

猿鬼の地を『アマメハギ』の鬼が歩いた！

11
2005
広報のと No.9



広報のと

第9号

平成17年11月1日発行

■発行：能登町 ■編集：広報情報推進課
〒927-1049
石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字197番地1

TEL: 0768-1611000
能登町URL: <http://www.town.noto.ishikawa.jp>
Eメール: info@town.noto.lg.jp

子育てって楽しいネ!

ござれ祭りにウルトラマンを見に行きました。お父さん一人でふたりを連れて行きました。大洋にかき氷を食べさせている間、千織は会場で出会った友だちと遊んでいました。大洋が眠くてぐずりだしたので帰ろうとすると千織がいません。そのうち大洋はだっこしたまま眠ってしまいました。暑い中ウロウロ探し回りました。困り果てた時ヒョコッと現れ「友だちと白鳥を見に行っていた」との事。心配そして安堵。今は一日が早いです。

父：修さん 母：洋子さん



山岸 千織ちゃん(右)
大洋ちゃん(左)
2歳 4歳
(藤ノ瀬)



尾上 千尋ちゃん(右)
春妃ちゃん(左)
4歳 6歳
(時長)

いつも明るく元気なふたり。姉妹でも顔も違うし、性格も正反対。千尋は女の子らしくままごとやお絵かきが大好きでスカートが主流。春妃は昆虫や動物が大好きで外に出れば必ず何かつかまえてきちゃうし、ズボンしかはかず、今はマジレンジャーの服がお気に入り。そんな対照的なふたりでもお互いに分かり合い、かばい合い仲良く遊んでいます。ふたりを見ていると、とてもほほえましく今後の成長が楽しみです。

父：雅俊さん 母：法恵さん

いちゃけな～お子さんの写真と子育てのエピソードを募集しています。広報係までご連絡ください。

能登町の祭り⑧

「あえのこと」は、稲作を守る田の神様に祈り、感謝する奥能登の代表的な民俗行事で、昭和59年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

12月5日、一年の収穫を終えた田んぼから夫婦神である田の神様を迎え、ごちそうでもてなします。長く厳しい冬を家族と一緒に過ごした田の神様は翌春の2月9日に田んぼに送られます。

神様のもてなしの仕方は多種多様ですが、田の神様に奉仕する主人の会話や動作は、まるで目の前に田の神様が実在するかのように執り行われる点は共通しています。

昔はたくさんの農家で行われていましたが、最近では行事を行う家庭は少なくなりました。

あえのこと(柳田地区)



大切な文化を後世に伝えるため、植物公園内の合鹿庵では、毎年12月5日に「あえのこと」が実演されます